

グローバルプロジェクト《中国をめぐる国際関係と対中国観の変遷》 第1回研究会「近代以降の周辺諸国の対中国観」

開催日時：2023年3月30日（木）13:30～15:00

開催会場：昭和女子大学 学園本部館3F 中会議室

司会：チャンマーク（昭和女子大学国際文化研究所准教授）

研究報告：「モンゴルから見た近代以降の対中国観」 13:35～14:15

報告者：ボルシギン フスレ（昭和女子大学国際学科教授）

コメント：経済の視点から「周辺から見た中国」 14:15～14:45

報告者：バートル（多摩大学経営情報学部教授）

討 論： 14:45～15:00

（途中、適宜休憩を入れます）

プロジェクトの目的と本シンポジウムの位置づけ

中国が「近代」国際社会の枠組みに参入したのは、いわゆるウェスタンインパクトを契機としており、具体的にはアヘン戦争以降のことである。本プロジェクトでは、アヘン戦争以降の中国国家（清朝・中華民国・中華人民共和国）の対外関係を整理しつつ、国際秩序の変容にともなう関係国や地域における対中国観の形成過程を明らかにするものである。分析の視座は、欧米圏や周辺アジア諸国の対中国観、中国研究の動向を同時に把握し、包括的に分析することが、本プロジェクトの特色である。

主催：昭和女子大学国際文化研究所

お問合せ先：〒154-8533 東京都世田谷区太子堂 1-7-57

昭和女子大学国際文化研究所

e-mail : kokusai-adm@swu.ac.jp

お申込み : QRコードからお願いいたします。

